

越後平野における生態系ネットワーク推進協議会

設立趣旨

越後平野には、我が国屈指の大河である信濃川、阿賀野川をはじめ、数多くの中小河川や潟湖、広大な水田、中にはラムサール条約湿地に登録された国際的に重要な地域も含まれているなど、多様な水辺環境が存在しており、それらは生物の貴重な生息環境となっています。

近年、国土形成計画等の行政計画に基づき、持続可能な国土形成に資する取組みとして生態系ネットワークの推進が掲げられ、生態系の広域的なつながりを示す大型水鳥類等を指標とした水辺環境の保全・再生や、その成果を活かした観光や農業等の地域振興の取組みが、全国各地で進められています。

越後平野においても、トキ・ハクチョウをシンボルとして、その安定的な生息に向けた地域間の情報交換や様々な活動を通じて、生態系ネットワークの形成を実現していく必要性が高まっています。

このため、越後平野において、多様な主体が連携・協働を進めることで、生態系ネットワークの形成を推進するとともに、自然の価値や魅力を活かした地域の活性化を目指すことを目的として、「越後平野における生態系ネットワーク推進協議会」を設立します。